

平成27年度事業報告

はじめに

平成27年度は、大阪府剣道連盟が公益社団法人に組織変更され、第3期目となる新しい代議員選出の年に当たっていたが、関係各位のご尽力により無事選出を終えることができた。目まぐるしく変転する社会情勢の中にあって、剣道も世界剣道選手権大会が日本武道館で開催され数多くの外国人選手が来日する中、否が応でも国際的視点での対応が迫られるようになってきた。

社会の変化は、公の施設管理にも現れ、指定管理者制度の導入により、公の施設管理が民間委託され、非常に借用しにくい状況になる中、28年度以降も会場確保に向け、いかなる対応を図るかなど剣道の本質を外れたところでの難問にぶつかっている感じがする。そのような中、暑中稽古・寒稽古は、何とか消化できたが、やっと、オール大阪として大阪におけるあらゆる団体の協力を得て、子供から大人、そして各団体、専門家まで含めた大きなうねりとなって動き始めた事業であり、大きな成果を期待したい。

また、平成26年度事業報告でも付言したとおり全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会は、平成27年度の第10回大会を最後に、「地域活性化センター」からの補助金が打ち切られることとなっていたため、共催団体である大阪市も交え、継続開催を前提に財源確保の道を探った。

その結果少年大会のさらなる発展とともに、剣道普及の発展に資する幅広い事業企画も併せ、賛助会員制度の活用を図ることとなり、広く加入を呼びかけたところ、約400件、300万円のご協力をいただくことができた。

しかし、一方では、経常収支のバランスは、昇段審査受審者数の減少が影響して約400万円近くの赤字となっており、経費節減とともに、効率的財政運営の努力が求められている。

さらに、また、講習会等についても参加者の減少がみられ、会員各位の奮起が望まれると共に制度の見直しも必要となってきた。審査員、審判員、さらに称号審査受審者等への講習会受講の義務付けなどの検討課題が残った。しかしながら年度末の事業集約をする中で、六段、七段、八段の高段位受審者講習会への参加者数は低かったものの、受審者における合格率は意外に高く、八段などではここ3か年の合計受講者60人中7人もの合格者を出している。全国の合格率が1パーセントを切る中、この数字は驚くべき数字であり、講習会の内容を再評価すると共に、講習会受講に向け、会員各位の意識変革を期待する。

個人情報保護法の成立に伴う事務処理にも変化が生じており、マイナンバー制度の導入により新たな対応が迫られるようになったが、個人情報保護委員会の的確な判断により、その活用に万全を期している。

全日本剣道連盟の主導による、中学校における武道必修化に対応する事業については平成26年2月24日以降、「授業協力者養成講座」を3回にわたって実施した。また、大阪府教育委員会では各中学校に呼びかけ、保健体育教員を対象に剣道の授業展開に対応できる教員養成などを実施しているが、大阪府剣道連盟としても講師を派遣する等その養成事業に協力しており、徐々にではあるが、制度の進展に向けた動きがみられる。

以下、平成27年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

個人会員制については、十分に周知され、認識が深まっているものと考えられる。

公益法人の事業は、会員だけを対象としたものではなく、不特定多数の者の利益追求を目的としているため、非会員制度を設けて対応している。しかし、そのことにより、一部では、会員となる必要はないのだ考える人たちも出てきている。公益社団法人とは、会員があり、その会費で運営されているものである。本来、剣道は、師がいて、仲間がいて切磋琢磨する、

道場文化として継承されてきたものであるが、その事務処理も複雑化してきており、その簡素化のためにも、ぜひ会員として入会し、共に成長発展を目指して欲しいものである。

道場文化としては、登録団体がその形態を引き継いでおり、保険加入、会費の納入、道場等の環境整備等々の役割を果たしており、個人会員数は、高校生相当年齢 2,473 名、大学生相当年齢 1,094 名、一般 12,528 名であった。なお、中学生以下の登録者は 8,847 名で、その合計は 24,942 名であった。昨年度と比べると、高校生相当年齢および大学生相当年齢は微減、一般は微増となった。中学生以下の登録者数は、横ばい傾向が窺える。

本年度の入会登録団体は 6 団体あり、退会登録団体は 6 団体で、本年度末の登録団体数は 556 団体であった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、剣道においては、審判法 3 回、日本剣道形 3 回、指導法 4 回、女子剣道普及のための講習会を 2 回、合計で 12 回開催したほか、昨年度に引き続き、「剣道高段位受審者対象講座」を 2 回開催して、高段位受審者の合格率の上昇を目指した。

これらに加えて、全剣連後援講習会（日本剣道形）を公認審査員を中心に受講者を募り、1 回行なった。

また、地域・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。地域においては、審判法 11 回、日本剣道形 8 回、指導法 2 回、合計で 21 回開催し、職域（大阪剣道協会、中学校体育連盟、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）においては、12 回開催した。

上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年 2 回の受講を義務づけている。

さらに、9 月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第 3 回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は 52 名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など 10 回実施し、26 年度に引き続いて、全剣連派遣講師による講習会を 1 回実施、合計 11 回の講習会を行なった。

杖道では、13 回の主要講習会に加えて 10 回の月例研修会を開催した。

また、三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を「文化講演会」として、2 月 6 日（土）大阪市中央体育館大会議室に於いて、真言宗僧侶 松尾寺名誉住職 松尾心空氏を講師にお迎えし、「歩行禅」をテーマとして、開催したところ、116 名が受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古・寒稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち修道館との共催事業として 8 月 17・18 日大阪市立修道館、8 月 19 日府民共済スーパーアリーナ（舞洲アリーナ）で実施し、延べ 1800 人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は 1 月 4、5、6 日に中央体育館で実施されたが、午後については、中体連、高体連が独自の事業として寒稽古を実施し、これを支援した。

3、各種大会開催事業（同条第 3 号）

本連盟主催分・・・ 6 月 21 日（日）第 52 回大阪杖道大会
6 月 28 日（日）第 48 回大阪府少年剣道大会
7 月 19 日（日）第 62 回大阪府剣道優勝大会
9 月 20 日（日）第 10 回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

- 11月 1日 (日) 第12回大阪府女子剣道優勝大会
 本連盟後援分・・・ 9月21日 (日) 第38回関西杖道優勝大会
 11月 1日 (日) 第45回居合道段別大会
 12月 6日 (日) 第57回大阪居合道大会
 本連盟主管分・・・ 4月29日 (祝) 第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 5月24日 (日) 大阪市長杯第59回市民剣道大会
 8月16日 (日) 第70回国国民体育大会近畿ブロック大会剣道競技
 2月14日 (日) 第20回大阪武道祭

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣 (同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

- 4月 4日 (土) ~ 5日 (日) 第50回剣道西日本中央講習会 神戸市
住野、加藤、石田
- 4月19日 (日) 第13回全日本選抜剣道八段優勝大会 名古屋市
船津、神崎
- 4月29日 (祝) 第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 大阪市
山本、中西、森田、高、村上、大城戸、徳岡、吉田
- 5月 2日 (土) ~ 5日 (祝) 第111回全日本剣道演武大会 京都市
参加者：444名
- 5月29日 (金) ~ 31日 (日) 第16回世界剣道選手権大会 東京都
(男子コーチ) 寺本 (選手) 升田、山本、田山
- 6月17日 (水) ~ 21日 (日) 第53回剣道中堅剣士講習会 奈良市
窪田、新垣、小竹
- 7月18日 (土) 第7回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 東京都
石田、梶川、榎岡、豊丸、酒匂、石田
- 8月16日 (日) 第70回国体 近畿ブロック大会 大阪府堺市
少年男・女、成年女子 13名
- 9月 6日 (日) 第61回全日本東西対抗剣道大会 熊本県熊本市
太田、田山、木和田、寺本、江藤、神崎、小坂
- 9月13日 (日) 第54回全日本女子剣道選手権大会 姫路市
大石、田山、山本
- 9月20日 (日) 第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 大阪市
小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム 計4チーム
- 10月 3日 (土) ~ 5日 (月) 第70回国国民体育大会 和歌山県那智勝浦町
少年：男子・女子、成年：男子・女子 4チーム
- 10月17日 (土) ~ 19日 (月) 第28回全国健康福祉祭 山口県防府市
大阪府チーム：木下、本郷、長澤、石丸、鳥濱、入澤
大阪市チーム：原、植西、増田、御本、宮坂、國次
堺市チーム：住吉、神脇、柴田、田井、出口
- 11月 3日 (祝) 第63回全日本剣道選手権大会 東京都
萩原、辻、升田

<居合道>

- 5月 2日 (土) 第111回全日本剣道演武大会 京都市 参加：63名
 7月11日 (土) ~ 12日 (日) 全剣連地区講習会 鳥取県米子市
参加：57名

9月 5日(土)～ 6日(日)	第42回全剣連中央講習会	京都市	
10月17日(土)	第50回全日本居合道大会	福岡県福岡市	中野、光行、伏見 伏見、白井、中島、東
<杖道>			
5月 2日(土)	第111回全日本剣道演武大会	京都市	参加：14名
6月 6日(土)～ 7日(日)	第24回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	古谷、濱田
8月 8日(土)～ 9日(日)	全剣連地区講習会	愛媛県松江市	参加：21名
10月11日(日)	第42回全日本杖道大会	兵庫県神戸市	二段：令官、三段：篠原、四段：老松、五段：藤田、六段：鹿島 参加：75名
平成28年1月16日(土)～17日(日)	全剣連地区講習会	東京都	参加：11名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与（同条第5号）

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,652名で、前年より8.3%の減少、居合道・杖道ともに横ばい状態であった。

6、功労者の表彰（同条第6号）

①平成27年度 全剣連 剣道功労賞	小久保昇治
②平成27年度 全剣連 剣道有功賞	松田 茂春 斎藤 辰行 渡邊 宏
③八段昇段	剣道 松江 範満 才 典浩 愛甲 和彦 居合道 無津呂弘之
④平成27年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞	
豊能地区 豊南剣修館	
三島地区 松が丘剣友会	正念剣成会
	純正館
大阪南地区 築港剣心会	瓜破剣道会
北河内地区 大阪無刀塾	枚方少年剣道推進会
	寝屋川警察少年剣道推進会
中河内地区 八尾剣清会	剣心館道場
	楠公剣友会
堺地区 威徳会	泉北桃山台剣友会
泉州地区 三劔会	和泉少年剣道推進会
	泉南警察少年剣道推進会

⑤平成27年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金賞	小林 清
銀賞	西崙 照隆
〃	眞鍋 浩敏
〃	鳥濱 義邦
団体賞	日曜会

⑥平成27年度全国警察剣道選手権大会	男子の部	優勝	土谷 有輝
	女子の部	優勝	山本真理子

⑦平成27年度全国警察剣道大会	団体戦1部	優勝	大阪府警察
-----------------	-------	----	-------

7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して33回開催され、活発な活動が行なわれた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された33回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、63回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は210団体2,985名と着実に増加している。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は84件で、昨年度に比べ微増であった。重大事故・重大傷害の発生は報告されていない。四肢の捻挫や骨折が多く、その状況は、転倒や稽古者

同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也も発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計901冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数32件、総計660,000円の協力を得た。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務・法規整備、綱紀・安全、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、居合道、杖道の18専門委員会を設置、強化委員会の中には一般男子、女子、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。

さらに、平成23年度から個人会員制を実施したことに伴い、IT・広報委員会を中心に事務全般にわたるシステム化を推進し、事務局保存資料のPDF化を完了させた。

女子剣道の活性化・充実を図るため、女子向上部会を設け、活動を支援した。

平成27年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	13名	183名
	日本剣道形講習会	3回	12名	158名
	指導法講習会	4回	23名	150名
	女子稽古会・講習会	2回	13名	64名
計		12回	61名	555名
地 区 職 域	審判講習会	19回	43名	1,121名
	日本剣道形講習会	12回	19名	619名
	指導法講習会	2回	5名	80名
	計	33回	67名	1,820名
合 計		45回	128名	2,375名

12月12日(土) 全日本剣道連盟後援講習会 日本剣道形 於大阪府中央体育館
全剣連派遣講師：田口 榮治 範士 参加：66名

(2) 各種大会の開催

<剣道>

5月24日(日) 大阪市長杯第59回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝：男子の部 トールエクスプレスジャパン(株)本社 於修道館
女子の部 大阪拘置所 参加：85チーム
463名

6月28日(日) 第48回大阪府少年剣道大会
兼 第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会
於府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
優秀チーム 参加：216チーム
高学年：関目剣友会、小曾根剣友会、聖和剣道友の会 645名
低学年：小曾根剣友会、穴師剣道会、関目剣友会

7月19日(日) 第62回大阪府剣道優勝大会 於大阪府中央体育館
優勝：男子一般 パナソニックエコソリューションズ社本社 参加：221チーム
女子一般 大阪剣道協会 警察学校 1,133名
高校男子 上宮高等学校

9月20日(日) 第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)
於府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
参加：小学生の部 47チーム
中学生の部 48チーム

11月 1日(日) 第12回大阪府女子剣道優勝大会 於なみはやドーム
 個人戦の部 優勝 一部：菊池 二部：和田 三部：川内 参加：106名
 四部：福林 五部：東角
 団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会布施 二部：茨木市剣道協会A
 参加：38チーム、121名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月12日(日) 第7回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於大阪市中央体育館
 代表：梶川、槇岡、豊丸、酒匂、石田 参加：45名

5月16日(土) 第70回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
 代表：(男子)吉村、萩原、松本、愛甲、山本 参加：104名
 (女子)豊丸、阪口、石田

5月30日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会 於修道館 参加：24名
 代表：(大阪府チーム)木下、本郷、長澤、石丸、鳥濱、入澤
 (大阪市チーム)原、植西、増田、御本、宮坂、國次
 (堺市チーム)住吉、神脇、柴田、田井、出口

6月13日(土) 第54回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市中央体育館
 代表：大石、田山、山本 参加：25名

8月29日(土) 第63回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
 代表：萩原、辻、升田 参加：68名

平成28年2月21日(日) 第64回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館
 代表：清水、三宅、磯口、村上、大城戸、田中、石田 参加：170名

(4) 審査会

6月14日(日) 箕面スカイアリーナ
 7月25日(土) 府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
 10月11日(日) 府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
 11月23日(祝) 岸和田市総合体育館
 平成28年1月17日(日) 臨海スポーツセンター
 3月20日(日) 大阪市中央体育館

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比
受審者数	2,546	1,753	588	432	333	5,652	△ 512 △ 8.3%
(うち女性)	738	516	152	117	67	1,590	△ 237 △ 13%
合格者数	2,082	1,156	333	170	113	3,854	△ 251 △ 6.1%
(うち女性)	606	360	78	32	10	1,086	△ 92 △ 7.8%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	540	301	264	61	50	—	1,216	+ 9	+ 0.07%
合格者数	113	53	3	61	51	—	281	+ 25	+ 9.7%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月19日(日) 第62回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
 演武 日本剣道形 宮本一宏 — 江藤善久
 小野派一刀流 井上勝由 — 野村光輝
 宝蔵院流槍術 前田繁則 — 尾野好司

8月17日(月)～18日(火) 暑中稽古 於修道館
 8月19日(水) 暑中稽古 於府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ)
 参加者:延約1,800名

平成28年 2月14日(日) 第20回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
 参加:小曾根剣友会・寺内剣友会 少年剣士20名及び指導者数名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

12月 4日(金)～ 6日(日) 於コスモスクエア交際交流センター
 第44回社会体育指導員(中級)養成講習会

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月25日(土)	第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於東淀川体育館	参加：120名
5月10日(日)	審判講習会	於千島体育館	参加：85名
7月4日(土)	第2回特別強化練習会	於千島体育館	参加：135名
8月16日(日)	夏季居合道講習会	於千島体育館	参加：181名
9月27日(日)	全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：142名
平成28年1月10日(日)	新年合同稽古会	於修道館	参加：130名
2月7日(日)	第3回特別強化練習会	於千島体育館	参加：146名
2月11日(祝)	高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：25名
2月20日(土)	春季居合道講習会	於千島体育館	参加：175名
2月28日(日)	無外流特別錬成会	於和泉市幸小学校	参加：30名
平成27年4月4日(土)～5日(日)	全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延191名
	全剣連派遣講師：三谷 昭雄 範士		

(2) 各種大会の開催

11月1日(日) 第45回居合道段別大会 於千島体育館 参加：160名

(段外は部長賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)

<男子> 段外：脇本(一貫会)

初段：長(近畿大) 二段：中谷(石切剣会) 三段：田(近畿大)

四段：永井(水月会) 五段：デービット・コープ(大剣協)

六段：黒木(交通局)

七段：最優秀賞…柴田(振興会)、部長賞…綿谷(春風会)

<女子> 初・二段：瀧川(高一真会) 三段：老松(箕面協)

四段：藤原(水月会) 六段：三木(北摂会)

12月6日(日) 第57回大阪居合道大会 於府民共済スーパーアリーナ(舞洲アリーナ) 参加：1,440名

(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)

<男女混成> 段外：43名

七段…福田一男杯受賞者：山洪数則(岡山)

…居合道同志会長杯：勝瀬文隆(静岡)

…最優秀演武者：糸田孝博(広島)

<女子の部> 初段：田中寛子(同志社大) 二段：松本恵李那(同志社大)

三段：望月 萌(東京) 四段：米澤智子(神奈川)

五段：瀧澤朋未(京都) 六段：津村久美(福岡)

<男子の部> 初段：川本卓範(同志社大) 二段：茶山斉範(同志社大)

三段：田中伸明(東京) 四段：舟津昌平(京都大)

五段：隠岐充啓(兵庫) 六段：原田 渡(神奈川)

<団体の部> 優勝：水月会 2位：無外流振興会

(3) 各種予選会の開催

4月25日(土) 第50回全日本居合道大会大阪府選手選考会 於東淀川体育館
参加: 120名
監督: 伏見 選手: 白井、中島、東

11月 8日(日) 第57回大阪居合道大会大阪府予選会 於修道館
参加: 160名
3位: 北摂会・近畿大学 決勝戦は、12月6日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月29日(土) 於修道館
平成28年 3月 5日(土) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	33	15	21	25	19	113	-5名
合格者数	28	10	13	8	10	69	+3名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	13	3	12	2	3	—	33	-4名
合格者数	3	1	1	2	3	—	10	-2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月19日(日) 第62回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中心中央体育館
演武 無想神伝重信流・太刀打之業 無津呂弘之 一 浅田治男

平成28年2月14日(日) 第20回大阪武道祭 演武 於大阪市中心中央体育館
参加: 東 弘一 一 柴田勝己 無津呂弘之 一 浅田治男

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 5日(日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：89名
4月29日(祝) 特別研修会	於東淀川体育館	参加：32名
5月10日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：43名
6月14日(日) 審判講習会・伝達講習会	於川西市総合体育館	参加：47名
7月12日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：37名
8月 2日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：34名
9月13日(日) 審判講習会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：43名
10月 4日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：53名
10月25日(日) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加：108名
12月13日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：45名
平成28年1月10日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：52名
2月 7日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：52名
3月13日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：42名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月21日(日) 第52回大阪杖道大会兼第42回全日本杖道大会大阪府予選会
於川西市総合体育館 参加：170名

(優勝者のみを記載)

初段：安藤(小野睦会) 二段：令官(守口) 三段：篠原(玄武館)
四段：老松(玄武館) 五段：藤田(養峻館) 六段：鹿島(玄武館)

9月21日(祝) 第38回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：155名

(優勝団体(者)のみを記載)

<団体戦> 玄武館A(飴、老松克、老松美)

<個人演武優秀賞> 段外：小山(神戸大)、福井(玄武館)、三浦(京都)、三木(高砂)、山田(玄武館)

初段：竹澤(京都)、天田(紀州)

二段：石戸(玄武館)、大西(高砂)、金丸(紀州)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月21日(日) 第52回大阪杖道大会兼第42回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月25日(土) 於大阪中央体育館

11月23日(祝) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	26	24	5	18	15	88	+6名
合格者数	17	17	2	9	4	49	-16名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	4	2	3	0	0	—	9	+1名
合格者数	3	1	0	0	0	—	4	+1名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月19日(日) 第62回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館

演武	全日本剣道連盟杖道形	森本訓史	—	古谷重勝
	内田流短杖術	中野伊織	—	佐藤政子
	一心流鎖鎌術	下谷光生	—	坂上 亨
	一角流十手術	石河和彦	—	近藤眞佐雄

平成28年2月14日(日) 第20回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館

参加: 坂上 亨 — 下谷光生 中野伊織 — 帆谷増幸

3月20日(日) 杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 一般受講者18名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 27 年度事業報告 附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟